

『みんなのふるさと夢プロジェクト』を支援する「March of Dime Walk」 萑崎-白州 22km に毎年参加しませんか？

全国で20万人以上の子ども達が難病あるいは重篤な病気と闘っています。認定 NPO 法人「難病の子ども支援全国ネットワーク」(以下難病ネット)では、そうした子ども達と家族、それを支える小児科医など様々な立場の人々が共にネットワークづくりを目指しています。20年以上にわたって難病ネットは様々な分野で子ども達と家族の QOL を高める活動に取り組んでいます。難病ネットの活動の柱の一つに、毎年全国各地で開催しているサマーキャンプ「がんばれ共和国」があります。このサマーキャンプは全国7カ所(北海道から沖縄)で開かれ、およそ1000人の子ども達(車いすの子、寝たきりの子、さらには重症児で呼吸器が必要な子まで重症度は様々です)が家族とともに各地の国民宿舎のような保養施設に集います。普段家に籠りがちな子ども達は、野外での様々な活動やバーベキューなどを楽しみます。わずか数日のキャンプ生活で子ども達は見違える程元気になる、豊かな感性が育まれます。そして親達は悩みを話し合っって絆を深めます。しかし、一般施設を使用するため、様々な制約があり、一般客に遠慮しながらのキャンプ生活であり、バリアフリーでもありません。次第に難病ネットにとって、常設キャンプ場を造る事が悲願となりました。このような経緯の中、ある篤志家が偶然にも私達の故郷山梨の白州町にある広大な山林を難病ネットに寄付してくれたのです。

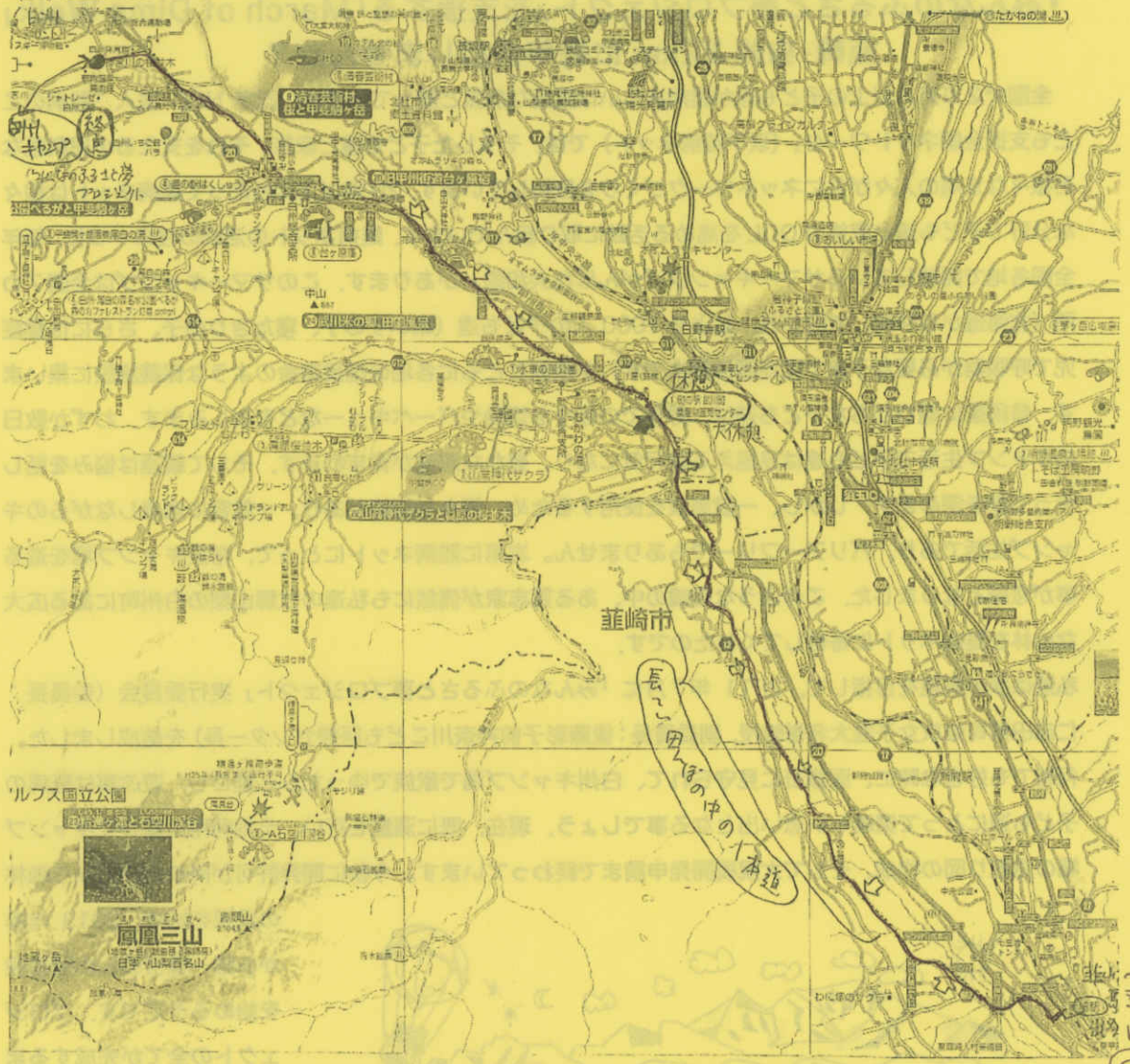
私達は夢の実現を目指して、2011年7月に「みんなのふるさと夢プロジェクト」実行委員会(委員長:仁志田博司東京女子医大名誉教授、副委員長:後藤彰子前神奈川こども医療センター長)を結成しました。何時でも好きな時に、医療班に見守られて、白州キャンプ場で家族でゆったりと過ごし、遊ぶ事は難病の子ども達にとって素晴らしい思い出となる事でしょう。現在、既に測量を行い、土地利用に基づくキャンプ場の見取り図の作成、そして大規模開発申請まで終わっています。今秋に開発許可が降りた時点から森林



の伐採を始め、2013年春から第一棟目の山小屋建設を始める予定です。プロジェクトの全てが完成するまでに5年から10年かかるかも知れませんが、実行委員会では様々な募金活動を繰り広げており、多くの人々の賛同が得られ、全国から寄付金が寄せられています。プロジェクトの完成までには多額の資金が必要になる事をご理解いただき、資金

面のご協力をお願い致します。キャンプ場のイラスト(福井修己画)のように、子ども達は木立に囲まれた山小屋に寝泊まりし、小鳥のさえずりを聞き、風のそよぎを感じて、夜は星の瞬きに見入る事でしょう。

Goal



Start

来年から始める「March of Dime Walk 韮崎—白州」の予告編：同窓生の皆様、お友だちと誘い合って新緑の美しい5月中旬の19日に、白州町に計画している『みんなのふるさと夢プロジェクト』を支援する「March of Dime Walk 韮崎—白州」に参加しませんか？どうか予定を明けておいてください。この地図にあるように、韮崎駅に集合し、およそ22kmを歩いて白州キャンプ場が終点です。韮崎を9時半に出発し、5時間の予定でゆっくり歩きます。終点で完歩祝いをし、白州キャンプ場を見学し解散です。隣のサントリー白州工場を見学した後、シャトルバスで小淵沢にゆく方法があります。矢印で示した田んぼの中の静かな一本道で、中間地点（武川の町の駅）から旧街道を辿り、台が原の宿場町を抜け白州に至ります。左手に鳳凰三山を望み、行く手に甲斐駒ヶ岳の雄大な山容を見ながらの素晴らしいウォーキングコースです。「March of Dime Walk 韮崎—白州」とは、故郷の自然と風物を眺め友人達と語りながら汗を流して歩く事で寄付を集める健康的で楽しいイベントです。詳細は『みんなのふるさと夢プロジェクト』のHPをご覧ください。改めて連絡致しますが、ご質問がありましたら、実行委員：田伏（旧姓笹本）純子（44年卒）yaasebuta@w2.dion.ne.jp、小口弘毅（45年卒）ogu-ped@chive.ocn.ne.jp 実行委員までメールにてお問い合わせ下さい。